

公益財団法人大田区文化振興協会 中期事業計画（令和6年度～10年度）

<概要版>

背景

2030アジェンダの推進
ユニバーサルデザインの推進
DXの推進
アフターコロナにおける文化芸術振興

あらゆる貧困を撲滅し、誰一人取り残さず、世界を持続的かつ強靱な道筋に移行させる
障がいの有無、年齢、性別、国籍などに関わらず多様な人が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする
データとデジタル技術によってビジネス・業務・企業文化などを変革する
多様な施設の利用、アウトリーチ活動、SNSの活用など文化芸術に触れる機会を拡充する

関係性を重視

大田区基本構想(令和6年3月策定)
大田区文化振興プラン(平成31年度～令和7年度)

重点的な取組

こどもに向けた取組
アウトリーチの推進
コーディネート機能の強化
周年を契機とした事業の実施

美術分野の強化
参加・連携・協働の推進
危機管理体制の強化



将来像

彩り豊かな文化芸術に区民の誰もが身近に出会えるまち おおた
～文化芸術を通じたウェルビーイングの実現～

ウェルビーイング……すべてが満たされた状態
身体的・精神的に健康であるだけでなく、社会的にも良好な状態にあること

基本目標	施策方針	具体的な取組
I 区民誰もが文化芸術に触れる機会を創出する	1 幅広い区民が良質で多様な文化芸術に親しめる機会の提供	・幅広い区民に様々な形で質の高い音楽、美術、演劇などの文化芸術を提供します
	2 こどもたちが文化芸術に親しめる機会の提供	・アウトリーチ事業やファミリー向け事業など、こどもたちに文化芸術鑑賞や体験の機会を提供します
	3 障がい者が文化芸術に親しめる環境整備	・障がい者施設へのアーティスト派遣や障がい者アート展示など、文化芸術的側面から支援します
	4 子育て中の親、経済的にゆとりのない世帯など文化芸術に触れる機会の少ない区民への機会の提供	・公演への招待、区寄贈絵画の活用による美術鑑賞、ユニバーサルデザインの推進など文化芸術に触れる機会を拡充します
	5 施設の特徴を活かした取組	・プラザ・アプリコ・文化の森・記念館それぞれが、室場を活かした特色のある事業を実施します
	6 協会創立40周年記念事業を始めとした周年事業の実施	・協会創立40周年記念事業(令和9年度)、各館の記念事業を実施します
II 区民の主体性を尊重し、連携・協働によって文化芸術を広める	1 区民の文化芸術活動の支援と交流の促進	・区民の自発的な文化活動を支援し、発表の場を提供します ・区民同士の交流、新たな文化芸術活動への発展を支援します
	2 自発的に文化芸術活動を行う区民や機関・団体、専門家との連携・協働の推進	・アーティストの活動支援、アーティストと区民の交流を推進します ・地域の活動団体や美術作家、美術コレクターとの連携による展覧会を開催します ・協会がコーディネート機能を発揮するとともに、OTAアート・サロンの実施などにより地域のコーディネーターを養成します
III 文化芸術活動や資源の情報を収集し、効果的に発信する	1 文化芸術に係る区民ニーズや地域情報の丁寧な把握	・協会事業でのアンケートや指定管理者のモニタリングを施設運営・事業構築に活かします ・区民記者が区内の文化芸術情報などを紹介する ARTbeeHIVE を充実します
	2 情報の受け手を意識した情報の発信	・文化振興協会情報誌 ARTMenu、文化芸術情報紙 ARTbeeHIVE を発行します ・SNSを活用し、幅広い世代を対象に文化芸術情報の受発信を行います ・協会事業、区民・文化団体・アーティストなどの文化芸術情報を集約したプラットフォームを構築します
IV 区民の文化芸術活動を支援する施設を整備し、協会の執行体制を強化する	1 安全で効率的・効果的な施設運営	・BCP計画の改定、危機管理マニュアルの検証など危機管理体制を強化します ・施設工事などによるハード面、職員の接遇力のソフト面、双方でユニバーサルデザインを推進します
	2 協会の執行体制の強化	・広告収入拡大など自主財源強化の取組みや、電子決裁システムを導入するなどDXの推進を図ります ・人材育成計画、人事ジョブローテーション、研修体系を確立し、人材確保・人材育成を進めます ・エコオフィスとともに、SDGsの推進を図ります